

講義コード	25468024	
担当者	本 郷 亮 教 授	
研究題目	古典のうちに未来を見る ―経済学史のすすめ―	
	<p>【ゼミの目的】 ●経済学史・経済思想史の研究を通じて、社会・経済のあるべき姿を考える。</p> <p>●学生として、あるいは将来の社会人として、以下の3つは不可欠の能力であり、本演習はそのための訓練でもある。①文章を読み、その内容を正しく理解すること（理解する力）、②自分の意見を論理的・魅力的に表現すること（説得する力）、③他者から批判を受け、それに適切に対処すること（打たれ強さ）。</p> <p>●ゼミは通常の講義科目とはまったく異なる。この点は明確に自覚して欲しい。講義は知識を「吸収する」場所であるが、ゼミは知識や主張を「はき出す」場所である。何ら発言せず、何の役割も担わない学生は、ゼミ活動の妨げになる。大切なのは、仲間と協力しあって自主的・組織的にゼミ活動を創ってゆく姿勢です。</p> <p>【ゼミの内容】 ●教科書の内容報告。2年次のテキストは、大田一廣・鈴木信雄ほか（編）『新版 経済思想史：社会認識の諸類型』（名古屋大学出版会、2006）。現時点の最良の教科書だと思います。毎週、該当範囲に関する穴埋めテストあり。ただしディベート大会などのゼミ行事の準備期間中は、教科書は中止。</p> <p>●月に1回、ゼミ会議をおこない、当面の活動計画や新規企画などについて話し合う。</p> <p>【ゼミの行事】 ●3年次に夏合宿をおこなう（3・4年生合同。3年生は全員参加、4年生は自由参加）。</p> <p>●なお、2013年度秋学期の2年生行事は以下の通りです。かなりハードでした。</p> <p>①3年生企画による新歓コンパ、②学部インゼミ（ディベート）、 ③西村・小林・本郷の3ゼミ対抗ディベート、 ④久保・本郷の合同ゼミ（経済映画の鑑賞・論評）、 ⑤日帰りバス旅行（城崎のカニ・温泉）、⑥2ヶ月に1回程度の飲み会（自由参加）</p> <p>●基本的には行事は学生の提案に任せており、提案があれば、毎月のゼミ会議を通じて企画・実行するという仕組みです。色々なアイデアを募集しています。</p> <p>【選考基準】 成績と面接（成績よりもゼミ活動への意欲を重視する）。行事にはできる限り参加すること。無断欠席は絶対にしないように（減点対象）。皆の力を合わせなければ、活発なゼミ活動は不可能です。</p> <p>【web等】 本郷経済学史研究室：http://bcbweb.bai.ne.jp/hongo/ あるいはfacebook： 本郷 亮</p>	
受け入れ条件	面接の実施（3年生も同席します）	
担当者のプロフィール	専攻	経済学史
	現在の研究テーマ	ケンブリッジ学派（特にピグーの厚生経済学）
	所属学会	経済学史学会、社会思想史学会、社会政策学会、日本経済思想史学会